

2021 年度 第 5 回 理事会議事録

日時： 11 月 16 日（火） zoom にて実施
時間： 19：00～21：00 予定

参加：木岡会長、加藤副会長、奥野副会長、鈴木事務局長、青野理事、
小野理事、野口理事、河津理事、小菅理事、辻村理事、石黒監事
欠席：宮内監事、小室理事、常深理事

（表記方法）大項目=○（マル大、太字）

中項目=全角数字

小項目=「・（中黒）」あるいは「i（全角ローマ小文字数字）」

【報告・確認事項】

○**会長報告（木岡）**

1. 公衆衛生功労者推薦

関戸先生を推薦した。

2. びわりハとの協定

10/20 に協定書事項を検討した。

①事務所を置くこと、

②公益的な教育研究に協力する、

③教育研究施設や機器備品の利用を可能とすること、

④OT の資質向上や学生の教育のための活動に協力すること、

⑤県民に対する啓発広報に関する協力、

⑥その他必要な項目は相談して決めること、を決定した。

委託料は 10,000 円/月を予定。びわりハ事務にて書面を作成、11 月には協定を結ぶ予定。

3. 2025 年度国体障害者スポーツについて

・協議に係るクラス分けに対する協力依頼。

・2022 年 7 月に滋賀県が主導で講習会が開催される。

・12/21 理事会あるいは 12/8 三役会で県担当者から大枠を説明してもらう。

4. 県士会のマスコットについて

・会長からの愛を込めた感謝状をお送りし、その後、HP への告知

5. 法務局

・法規に関する届け出について石黒監事・木岡会長と対応。

○**加藤副会長**

1. 多職種連携学会（12/5）について

・申込者が少ない。各団体からの協力を仰ぐ。申込期限は来週まで。

- ・滋賀県士会 HP と公式 LINE への周知をしていく。

2. 滋賀県立リハセンターからの依頼と対応

○奥野副会長

1. 肖像権使用の同意書の管理について

地域活動局からのパンフレット作成からの発信。これに伴い同意を得た本人は原本のコピーを所持しておき、原本は事務局で保管することとした。また、今後も踏まえてテンプレート进行管理していく。

○事務局（鈴木）

1. 会員数 486 名、現在の入金者 363 名、次回未納で会員資格停止者候補 14 名（11/16 時点）
2. 文書管理をびわりハで管理することとなった。
3. 第 52 回滋賀県公衆衛生学会委員派遣
びわりハの前田先生にお願いした。
4. 理事会と三役会の報告事項
 - ・三役会では決議前の情報を収集すること、理事会が冗長とにならないようにする。
5. 事業に伴う個人情報取り扱いについて
 - ・会員が所属する施設のみ配布リストを。
6. 滋賀県社会福祉協議会事業
 - ・びわりハ鈴木が就くことで決定。

○広報部（鈴木）

1. ホームページ一部改訂作業は終了
地域活動局の支部長を追加した。
2. 47 都道府県 広報部会意見交換会（グーグルフォーム回答期限 11/1）
川島、嶋川、鈴木、奥野、小野が参加する。

○庶務部・財務部（鈴木）

1. 日当の解釈について

○教育局（青野）

1. MTDLP より

第 1 回 MTDLP 全国推進会議 開催日：10 月 21 日（木）実施

2021 年度から MTDLP の推進と質の担保のため、にプロジェクトチームで対応できるようにする。様々な課題に集中的に議論するチームとして活動していく

今後の機能と役割（下線部を優先的に動いていく）

○質の標準化に向けた検討

- ・精神科と小児の基礎研修演習事例の提示
- ・マニュアルの更新
- ・事例分析からの標準化システムのデータ提出

○質の管理に向けて

- ・基礎研修、実践研修、養成教育教員研修、臨床実習指導者研修、MTDLP 推進協力校、強化校などそれぞれの研修の整合性の検討

○指導者の役割の明確化と質の維持

○生活行為関連の普及啓発

今後の予定

第2回の推進会議・・・1月に実施予定

第3回の推進会議・・・3月に実施予定

来年度の研修計画について

協会の動きを見て、来年度は一部、やり方変える必要があるかも？

第2回の推進会議の内容を受けて検討。

2. 臨床実習指導者教育部

10/16~10/17 実施

各領域からの参加者あり 77名参加 大きなトラブルなし

講師の輪をひろげていきたい

満3年目…未受講者200名ぐらい。来年度も100名程度の受講があるか？

3. 生涯教育部

現職者選択研修（精神科領域） 12/19 実施予定

11/13（土）全国推進会議 竹内さんの他、鈴木さん参加

11/14 現職者共通研修

2022/1/16 現職者共通研修

4. 第2回 OT カフェ from 滋賀の実施

10/6 実施。 14名の参加。

次回の講師は、奥野副会長 予定。

5. 新規研修会の立案について検討

○学術局（辻村）

1. 学術誌編集部

- ・2021年11月9日にWEB会議を実施。
 - ・2023年度、初稿に向けて、投稿規定、査読規定などを含めた準備を進めている。
- 今後には検討事項として挙げていく必要もでてくる。

2. 学会事業部

- ・2021年10月31日 第16回滋賀県作業療法学会（WED）
参加者数（115名 スタッフ含む）
- ・11月26日（金）19時 学会引継ぎ
場所： びわこリハビリテーション専門職大学
参加者：鈴木、宇於崎、木岡、奥野、青野、加藤、前田、辻村（敬称略）
- ・今年度の学会についてのまとめ、課題の集約

- ・次年度の大会の準備・企画
- ・次年度大会長：奥野

○特設委員会（奥野）

1. 訪問リハビリ推進委員会
2. 運転対策委員会（奥野）
 - ・近畿運転 OT プロジェクト研修会 開催予定 11月21日（日）
3. 福祉用具対策委員会
4. 認知症対策委員会
 - ・12月10日 第三回 認知症にかかわる認知症 OT 交流会
5. 地域包括ケア推進委員会（小室）
 - ・10月5日（火） OT 地域包括ケア推進エリア連携 G（OT 協会主催）に参加
 - ・10月17日（土） POS 連絡協議会主催でアドバンス研修実施
 - ・11月16日（火） POS 連絡協議会大津・湖西支部主催事例検討会の実施
 - ・11月20日（土） OT 協会第2回地域支援事業への参画推進のための WEB 研修会
 - ・週1回ほどの頻度で POS 連絡協議会の会議あり

○地域活動局（奥野）

1. 東近江支部（小菅）
 - ・OT 実践倶楽部の実施
 - ・R4年度の活動を計画。部員の増員を検討している。
2. 湖北・湖東支部（小野）
 - ・湖北→今年度学会運営。
 - ・湖東→バトン事業で日下部さんが対応。
3. 大津・湖西支部（常深）
 - ・認知症のアセスメントに関連する研修会を予定。講師は宮武さん。
4. 湖南・甲賀支部（野口）
 - ・MTDLP 実践者研修会 2/4→1/28 に変更
 - ・甲賀 LINE グループ作成し運用開始。湖南圏域は検討中。
LINE グループに関しては湖南以外の圏域で作成。ルール作成し、大きな問題なく運用

○その他

- ・次世代リーダー研修委員 精神医療センター中重さんで決定。
- ・第2回次世代リーダー研修会（Web）2022年2月頃予定 19:00～

【検討・審議事項】

○会長報告（木岡）

1. 学術局顧問の位置づけ

- ・顧問という立ち位置で組織に所属させず、アドバイザーとしての立ち位置にするか。
士会の監事のようなポジションとすることでよいか理事会で承認を得ることとする。

理事会→承認

2. 日本作業療法士協会「特別表彰」の士会推薦について

- ・12/6までに推薦者を選定する。
- ・理事会でも意見を募る。

理事会→該当者なし。

○事務局（鈴木）

1. 法人クレカ

理事会→ZOOM 契約など、個人名義の支払いとならないように滋賀県 OT 士会にて作成することで承認

2. 災害対策

①滋賀県士会としては、47 委員会や近畿の状況を加味すれば、災害時における士会員への減免措置に正確に対応できる体制が最も現実的で望ましいのではないかと。緊急性の高い措置は JRAT や各所属施設が対応しているはずである。

②協会は全会員にまで手を広げて実施を要望してきているが、①を考えると、多量の情報を煩雑に取り扱うよりも、理事あるいは部長から以下に簡易に正確に情報を集められるかが重要ではないかと。また特に時間的な緊急性も生じないと想定される。

③これらを踏まえた具体的な動きとして、、、

→災害が発生する

→（数日単位で事務局も含め混乱状態となる）

→状況が落ち着き次第、地域活動局のグループラインおよび HP にて「被害状況を把握するためのアンケート」への告知を案内する。このアンケートは各施設における OT 管理者に向けて行われる。

→大まかな被害状況を事務局にて把握し、これを受けて必要であれば再度、LINE と HP を通じて「アンケートへの同意とともに、県士会からの減免措置を要求する会員」に向けたアンケート調査を実施。

→順次、三役・理事会を通じて具体的対応を行っていく。

理事会→承認。

3. Freek Drive による個人情報管理

理事会→承認。バックアップ方法についても検討を進めることとする。

4. 近畿学会査読者の選定について

滋賀県士会からは身障 3 名を選出。

理事会 →辻村、河津、岡本を選出。

○広報部（鈴木 部長：川島）

1. HP について

- ・アイコラボレーションより2案のラフが完成している。

2. HP への広報について

- ・HP への掲載は広報部よりおこなっているが、掲載までにタイムラグが生じてしまうため、喫緊の内容に対して応じにくい状況である。可能であれば、早めに連絡をいただきたいところであるため協力願いたい。

理事会→上記の対応が困難であれば、事務局鈴木まで連絡をすることで緊急連絡に対応する。

○公益社会局（河津）

1. 学校支援については検討中。今後審議を仰ぐこととなる。

○特設委員会（奥野）

1. 訪問リハビリ推進委員会（委員長：深津）

- ・地域包括ケアとの合併が今後の検討課題になるかもしれない。